

はじめに



本計画は、『地域保健福祉計画』、『高齢者保健福祉計画』及び『しょうがいしゃ福祉計画』の3分野からなる、これまでの「国立市第三次地域保健福祉計画」の構成を全面的に見直し、それぞれを個別計画にするとともに、地域保健福祉計画を地域の要となる計画と捉え、その名称を「国立市地域福祉計画」に改め、地域福祉に重点を置いた計画といたしました。

本計画では、しょうがいしゃ、高齢者、子どもなどの個別計画では対応できない福祉施策や各計画に共通する事項、男女共同参画、地域防災などの関連計画も含め、各計画を横断的な角度から補い、生涯学習、NPO活動、まちづくりなど福祉以外の分野にも及ぶ広い範囲を対象といたしました。また、目標を「だれもがあたりまえに暮らせるまちをつくる」こととし、目標を実現するための基本理念として、「ソーシャルインクルージョンに基づく地域づくり」及び「少子高齢社会に対応したコミュニティづくり」を掲げて、12項目の施策を推進することといたしました。

従来から、少子高齢化の進行、地域での相互扶助意識の希薄化などにより、地域コミュニティは衰退の傾向にあります。平成23年3月11日に発生し

ひがしにほんだいいんさい おお きょうくん ひと たいせつ さいにんしき
た東日本大震災の大きな教訓として「人のつながりの大切さ」が再認識さ
れしました。ちいき さまざま かだい こうてき かいけつ むずか
地域の様々な課題は、公的なサービスだけでは解決が難しく、
かぞく しみん ちいき ぎょうせいとう きょうどう とりくみ すす ひつよう ほんけいかく
家族、市民、地域、行政等が協働して取組を進める必要があります。本計画
かくしさく みなさま ちゃくじつ すいしん く
の各施策を皆様とともに着実に推進し、だれもがあたりまえに暮らせるま
ちを創造し、そうぞう かつせいか ちいきしゃかい めざ
コミュニティが活性化した地域社会づくりを目指します。

ほんけいかく さくてい あ く にたちしちいきほけんふくしけいかくさくていいんかい けんとう
本計画の策定に当たっては、国立市地域保健福祉計画策定委員会での検討、
くにたちしちいきほけんふくしだんたいとうれんらくきょうぎかい ぎろん さまざま かくど
国立市地域保健福祉団体等連絡協議会での議論など、様々な角度からご
いけん ていげん あらた ほんけいかく さくてい きょうりよく
意見・ご提言をいただきました。改めて、本計画の策定にご協力をいた
だきましたみなさま ところ れいもう あ
いただきました皆様に、心よりお礼申し上げます。

へいせい ねん がつ
平成24年3月

くにたちしちょう
国立市長

さ どう かず お
佐藤 一夫